

**平成23年度
鳥取県青少年育成意識調査
報告書**

**平成24年3月
鳥取県**

目 次

第Ⅰ章 鳥取県青少年育成意識調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の主体	1
3	調査対象	1
4	調査票配布数	1
5	抽出方法	2
6	調査方法	2
7	調査の基準日	2
8	調査期間	2
9	調査内容	2
10	回収結果	3
11	回収した標本の構成	4
12	集計方法	5
13	集計委託	5
14	報告書の見方	5

第Ⅱ章 調査結果

1	青少年について	
(1)	属性	6
1	性別	
2	青年の年齢	
3	青年の職業	
(2)	家族・家庭	8
1	同居家族	
2	家族構成	
3	家庭生活の満足度	
4	家庭生活満足の原因	
5	家庭生活不満足の原因	
6	大人の家族との会話の頻度	
7	保護者から見た、子どもとの会話の頻度	
8	大人の家族と夕食を一緒に食べる頻度	
9	大人の家族と夕食を一緒に食べる頻度（平成17年度調査との比較）	
10	大人の家族へ望むこと	
11	家庭でのしつけの内容	
(3)	地域とのかかわり・地域での活動	19
1	地域での活動への参加状況	
2	地域での活動への参加状況（平成17年度調査との比較）	
3	ボランティアへの関心	
4	ボランティアへの関心（平成17年度調査との比較）	
5	してみたいボランティアの内容	
6	してみたいボランティアの内容（平成17年度調査との比較）	
7	地域の大人との親しさ	
8	地域の大人との親しさ（平成17年度調査との比較）	
9	保護者から見た地域の子どもの親しさ	
10	保護者から見た地域の子どもの親しさ（平成17年度調査との比較）	
11	地域への居留意向（平成17年度調査との比較）	
12	保護者の子どもの居住先についての意向（平成17年度調査との比較）	
13	青年と保護者から見た地域のよい点	

14	青年のサークル活動等への参加状況（平成17年度調査との比較）	
15	青年が参加するサークル等の活動内容（平成17年度調査との比較）	
16	青年のサークル活動等への参加のきっかけ（平成17年度調査との比較）	
(4)	友人関係	34
1	友だちの有無	
2	友だちになったきっかけ	
(5)	生活	36
1	基本的な生活習慣の状況	
2	こづかいの使途	
3	休日の過ごし方	
4	青年が普段自宅でよくしていること	
5	打ち込んでやれることの有無（平成17年度調査との比較）	
6	打ち込んでやれることの内容（平成17年度調査との比較）	
7	青年が充実していると感じるとき	
8	体験的活動の経験	
(6)	学校生活	51
1	学校生活の満足度	
2	学校生活満足の理由	
3	学校生活不満足の理由	
4	学校へ行きたくないと思った経験（平成17年度調査との比較）	
5	学校へ行きたくない時どうしたか（平成17年度調査との比較）	
6	学校へ行きたくない理由（平成17年度調査との比較）	
(7)	進路・職業観	57
1	将来就きたい仕事を決めているか（平成17年度調査との比較）	
2	職業選択の基準（平成17年度調査との比較）	
3	希望する最終学歴（平成17年度調査との比較）	
4	保護者の子どもの最終学歴に関する意向	
5	青年の働くことについての考え方	
(8)	心の状態	61
1	自己肯定感（自分には良いところがあると思う）	
2	抑うつ感（いらいらしたり、おこりっぽくなったりすることがある）	
3	抑うつ感（いつも疲れた感じがする）	
4	抑うつ感（死のうと思ったことがある）	
5	悩みの有無	
6	悩みの内容（平成17年度調査との比較）	
7	悩みの相談相手	
8	青年の対人関係に関する意識	
9	やればできると思った体験の有無（平成17年度調査との比較）	
10	やればできると思った体験の内容（平成17年度調査との比較）	
11	青年と保護者が考える若いうちにすべきこと（平成17年度調査との比較）	
12	居心地のいい場所（平成17年度調査との比較）	
(9)	非行	74
1	非行の経験	
2	触法行為の経験	
3	性非行を行うことへの意識	
4	性非行を行うことへの意識（平成17年度調査との比較）	
(10)	被害の経験	88
1	被害の経験	
(11)	非行傾向群と一般群の比較	90
1	鳥取県青少年育成意識調査での区分	
2	非行傾向群と一般群の比較方法	

3	家庭について	
4	生活について	
5	体験的活動について	
6	学校・勉強について	
7	地域とのかかわりについて	
8	心の状態	
9	異性との交際で今の年齢でもよいと思うこと（青年は高校生の年齢で）	
(12)	触法行為経験群と一般群の比較	100
1	鳥取県青少年育成意識調査での区分	
2	触法行為経験群と一般群の比較方法	
3	属性	
4	家庭について	
5	体験的活動について	
6	職業観について	
7	心の状態	
8	異性との交際で今の年齢でもよいと思うこと（青年は高校生の年齢で）	
(13)	キスしてもよいと思うか、思わないかによる比較	105
1	鳥取県青少年育成意識調査での区分	
2	キス許容群とキス非許容群の比較方法	
3	属性	
4	家庭について	
5	体験的活動について	
6	学校・勉強について	
7	地域とのかかわりについて	
8	心の状態	
9	非行等の経験（青年は18歳（高校卒業）までの年齢で）	
10	異性との交際で今の年齢でもよいと思うこと（青年は高校生の年齢で）	
(14)	性関係を持ってもよいと思うか、思わないかによる比較	115
1	鳥取県青少年育成意識調査での区分	
2	性関係許容群と性関係非許容群の比較方法	
3	地域とのかかわりについて	
4	心の状態	
5	非行等の経験（青年は18歳（高校卒業）までの年齢で）	
6	異性との交際で今の年齢でもよいと思うこと（青年は高校生の年齢で）	
(15)	広義のひきこもり群、ひきこもり親和群、一般群の比較	121
1	鳥取県青少年育成意識調査での区分	
2	性別	
3	年齢	
4	職業	
5	同居家族	
6	ひきこもりのきっかけ	
7	ひきこもり状態になってからの経過年数	
8	外出頻度	
9	ひきこもることへの意識	
10	家庭生活の満足度	
11	家族とのコミュニケーション	
12	家族についての意識	
13	家庭で受けたしつけ	
14	自宅をよくすること	
15	基本的な生活習慣	
16	地域行事への参加状況	

- 17 地域のよい点
- 18 地域への居留意向
- 19 無職の方の進路希望
- 20 職業選択で重視すること
- 21 職業観
- 22 悩み
- 23 悩みの相談相手
- 24 自己肯定感
- 25 対人関係に関する意識
- 26 抑うつ感
- 27 充実しているとき
- 28 若いうちにすべきこと
- 29 体験的活動の経験
- 30 非行経験
- 31 学校生活の満足度（卒業した、または現在の学校について）

2 保護者について

- (1) 属性 166
 - 1 回答の対象とした子どもの学年
 - 2 回答した保護者の続柄
 - 3 回答した保護者の年齢
- (2) 悩み 168
 - 1 子どもについての保護者の悩み
 - 2 保護者の悩みの対応法
- (3) 保護者から見た子どもの様子 170
 - 1 保護者が把握する子どもの交友関係
 - 2 保護者が把握する子どもの悩みの相談相手
- (4) 保護者から見た家庭環境 172
 - 1 保護者の考える家族関係の良好度
 - 2 保護者が子育てで心がけていること
- (5) 青少年に関する問題 174
 - 1 保護者の青少年に関する問題への関心
 - 2 保護者が考える非行の原因
 - 3 保護者が考える子どもの非行傾向
 - 4 子どもの行為について保護者がしてもよいと考える年齢
- (6) 学校や地域とのかかわり 183
 - 1 保護者のPTA活動参加意識
 - 2 保護者の地域活動への参加状況

第三章 資料

調査票

- 小学2年生用 186
- 小学5年生用 189
- 中学2年生用 194
- 高校2年生用 201
- 青年用 207
- 保護者用 213

※単純集計表は別冊となります。

第1章 鳥取県青少年育成意識調査の概要

1 調査の目的

- ・ 青少年及び成人の意識並びに行動を調査することにより、その実態を的確に把握し、過去に実施した調査結果との時間的変容を解明し、青少年施策の基礎資料を得ること。
- ・ また、調査結果は、「とっとり若者自立応援プラン」の策定の基礎資料とすること。

2 調査の主体 鳥取県

3 調査対象

(1) 地域 鳥取県全域

(2) 対象者・必要な標本数

県内在住の青少年、保護者の内、下表の区分を対象者とし、調査の信頼度が95%、標本誤差が±5%の場合に必要な下表の人数を標本数とする。

区分	人数
小学2年生	400
小学5年生	400
中学2年生	400
高校2年生	400
上記の保護者	1,600
青年(19~29歳)	400
合計	3,600

4 調査票配布数

(1) 全体 5,237

※必要な標本数を回収するため、区分別に前回調査の回収率を参考に配布数を決定。

(2) 調査対象別

区 分	調査票配布数
小学2年生(児童)	416
小学5年生(児童)	434
中学2年生(生徒)	501
高校2年生(生徒)	418
保 護 者	1,768
小学2年生	415
小学5年生	434
中学2年生	501
高校2年生	418
青 年	1,700
合 計	5,237

※小学2年生の児童と保護者の配布数の差1は、双子の児童の保護者が1名あったことによる。(児童2名に対し、その保護者が1名のため)

5 抽出方法<無作為抽出>

(1) 小学2年生、小学5年生及び中学2年生の児童・生徒

鳥取県の東・中・西部地区別の対象学年の児童、生徒数に応じ標本数を比例配分し、鳥取県教育委員会が有する学校一覧から対象となる学級を系統抽出。(学級単位で抽出し、該当学級の児童・生徒を調査対象者とした。また、小学5年生については、小学2年生で対象となった学校を除外したうえで抽出した。)

(2) 高校2年生

公立、私立、課程、学科の生徒数に応じ標本数を比例配分し、鳥取県教育委員会が有する学校一覧から対象となる学級を系統抽出。(学級単位で抽出し、該当学級の生徒を調査対象者とした。)

(3) 保護者

上記(1)及び(2)により抽出された児童、生徒の保護者を対象者とした。

(4) 青年

各市町村の19～29歳の人口に応じて標本数を比例配分し、住民基本台帳をもとに対象者を系統抽出。

6 調査方法

(1) 小学2年生、小学5年生、中学2年生及び高校2年生

抽出した学校(学級)を通じ、対象の児童・生徒に調査票の配布、回収を行った。

(2) 保護者

小学2年生、小学5年生、中学2年生及び高校2年生の調査対象者となった児童・生徒を通じ、その保護者に調査票の配布、回収を行った。

(3) 青年

鳥取県から郵送により調査票を配布し、郵送にて回収を行った。

7 調査の基準日 平成23年7月1日

8 調査期間 平成23年7月1日から31日まで (9月30日までに届いた調査票は集計に含めた。)

9 調査内容

(1) 青少年自身について

ア 心と人間関係＝自己肯定感、悩み、相談相手、交友関係、体験的活動(自然、生活、社会等)等

イ 非行(含性非行)・いじめについて＝喫煙、深夜徘徊、外泊やいじめに関する経験等

ウ 不登校について＝学校へ行きたくないと思った経験、理由等

エ 生活について＝基本的生活習慣、普段の生活等

(2) 青少年を取り巻く環境について

ア 家庭について＝家庭生活の満足度とその理由、家族間のコミュニケーション、しつけ等

イ 学校について＝学校生活の満足度とその理由等

ウ 地域について＝地域活動への参加、地域への居住意向等

(3) ひきこもり、ニートについて

ひきこもりの状況、働くことについての考え方、抑うつ感、対人関係の苦手意識等

10 回収結果

(1) 回収分析標本数

ア 全体3,785標本（回収率72.6%）

イ 調査対象別

区 分	調査票 配布数A	調査票不達B	回収数C	回収率(%) D=C/(A-B)
小学2年生(児童)	416	0	412	99.0
小学5年生(児童)	434	0	428	98.6
中学2年生(生徒)	501	0	460	91.8
高校2年生(生徒)	418	1	404	96.9
保護者	1,768	1	1,586	89.8
小学2年生	415	0	401	96.6
小学5年生	434	0	392	90.3
中学2年生	501	0	427	85.2
高校2年生	418	1	366	87.8
青 年	1,700	22	495	29.5
合 計	5,237	24	3,785	72.6

(2) 未回収標本内訳

小学2年生(児童)

回収不能の理由	数
回答拒否	4

小学5年生(児童)

回収不能の理由	数
回答拒否	6

中学2年生(生徒)

回収不能の理由	数
回答拒否	41

高校2年生(生徒)

回収不能の理由	数
調査票不達(休学中)	1
回答拒否	13
合 計	14

保護者(全体)

回収不能の理由	数
調査票不達(休学中)	1
回答拒否	181
合 計	182

青年

回収不能の理由	数
調査票不達(宛所なし)	22
その他(病気)	1
回答拒否	1,182
合 計	1,205

1.1 回収した標本の構成

ブロック別の構成は以下のとおりである。

- 東部 …… 鳥取市、岩美郡、八頭郡
- 中部 …… 倉吉市、東伯郡
- 西部 …… 米子市、境港市、西伯郡、日野郡

【小学2年生・小学5年生・中学2年生の児童生徒】

区分	小学2年生				小学5年生				中学2年生				
	調査結果		県全体		調査結果		県全体		調査結果		県全体		
	回答者数	割合	児童・生徒数	割合	回答者数	割合	児童・生徒数	割合	回答者数	割合	児童・生徒数	割合	
公立	東部	167	40.5%	2,105	40.2%	180	42.1%	2,158	39.7%	174	37.8%	2,078	38.5%
	中部	77	18.7%	932	17.8%	74	17.3%	934	17.2%	90	19.6%	922	17.1%
	西部	168	40.8%	2,116	40.4%	174	40.7%	2,273	41.8%	196	42.6%	2,137	39.6%
国立		0	0.0%	80	1.5%	0	0.0%	75	1.4%	0	0.0%	156	2.9%
私立		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	98	1.8%
合計		412	100.0%	5,233	100.0%	428	100.0%	5,440	100.0%	460	100.0%	5,391	100.0%

【小学2年生・小学5年生・中学2年生の保護者】

区分	小学2年生				小学5年生				中学2年生				
	調査結果		県全体		調査結果		県全体		調査結果		県全体		
	回答者数	割合	人数	割合	回答者数	割合	人数	割合	回答者数	割合	人数	割合	
公立	東部	163	40.6%	2,105	40.2%	167	42.6%	2,158	39.7%	162	37.9%	2,078	38.5%
	中部	76	19.0%	932	17.8%	70	17.9%	934	17.2%	89	20.8%	922	17.1%
	西部	162	40.4%	2,116	40.4%	155	39.5%	2,273	41.8%	176	41.2%	2,137	39.6%
国立		0	0.0%	80	1.5%	0	0.0%	75	1.4%	0	0.0%	156	2.9%
私立		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	98	1.8%
合計		401	100.0%	5,233	100.0%	392	100.0%	5,440	100.0%	427	100.0%	5,391	100.0%

【高校2年生の生徒】

公・私	生徒数	課程	生徒数	学科	生徒数	地区	調査結果		県全体	
							回答者数	割合	生徒数	割合
県立	4,752	全日	4,532	普通科系	2,552	東	71	17.6%	1,112	18.6%
						中	40	9.9%	560	9.4%
						西	75	18.6%	880	14.7%
				専門 (職業教育) 系	1,562	東	35	8.7%	650	10.9%
						中	37	9.2%	342	5.7%
						西	38	9.4%	570	9.5%
		総合学科	418	東	0	0.0%	152	2.5%		
				中	0	0.0%	—	—		
				西	20	5.0%	266	4.5%		
		定時	220	普通科系	70	東	0	0.0%	—	—
						中	0	0.0%	40	0.7%
						西	0	0.0%	30	0.5%
総合学科	150			東	0	0.0%	90	1.5%		
				中	0	0.0%	—	—		
				西	0	0.0%	60	1.0%		
私立	1,224	全日	1,224	普通科系	828	東	27	6.7%	300	5.0%
						中	0	0.0%	167	2.8%
						西	36	8.9%	361	6.0%
				専門 (職業教育) 系	396	東	0	0.0%	64	1.1%
						中	0	0.0%	22	0.4%
						西	25	6.2%	310	5.2%
合計	5,976		5,976		5,976		404	100.0%	5,976	100.0%

【高校2年生の保護者】

公・私	生徒数	課程	生徒数	学科	生徒数	地区	調査結果		県全体	
							回答者数	割合	人数	割合
県立	4,752	全日	4,532	普通科系	2,552	東	73	19.9%	1,112	18.6%
						中	30	8.2%	560	9.4%
						西	72	19.7%	880	14.7%
				専門 (職業教育) 系	1,562	東	35	9.6%	650	10.9%
						中	34	9.3%	342	5.7%
						西	38	10.4%	570	9.5%
		総合学科	418	東	0	0.0%	152	2.5%		
				中	0	0.0%	—	—		
				西	9	2.5%	266	4.5%		
		定時	220	普通科系	70	東	0	0.0%	—	—
						中	0	0.0%	40	0.7%
						西	0	0.0%	30	0.5%
総合学科	150			東	0	0.0%	90	1.5%		
				中	0	0.0%	—	—		
				西	0	0.0%	60	1.0%		
私立	1,224	全日	1,224	普通科系	828	東	26	7.1%	300	5.0%
						中	0	0.0%	167	2.8%
						西	24	6.6%	361	6.0%
				専門 (職業教育) 系	396	東	0	0.0%	64	1.1%
						中	0	0.0%	22	0.4%
						西	25	6.8%	310	5.2%
合計	5,976		5,976		5,976	366	100.0%	5,976	100.0%	

(注1) 国公立の小学2年、小学5年、中学2年の児童生徒数は平成23年5月1日現在で鳥取県教育委員会が取りまとめた数値。私立中学校の生徒数は平成23年5月1日現在で鳥取県企画部教育・学術振興課が取りまとめた数値。

(注2) 県立高校の生徒数は平成23年度の収容定員。私立高等学校の生徒数は平成23年5月1日現在で鳥取県企画部教育・学術振興課が取りまとめた数値。

(注3) 保護者の人口は、上記注1、注2の児童生徒数と同数とした。

【青年】

青年については、各市町村の19～29歳の人口(平成22年10月1日現在の推計)に応じて比例配分したが、居住地を尋ねる設問を行っておらず、回答者の居住市町村別の構成を特定できない。

1.2 集計方法 単純集計とクロス集計

1.3 集計委託 特定非営利活動法人Studio-E
所在地 鳥取市杉崎601-2 グリーンハイツ杉崎1階

1.4 報告書の見方

- (1) 「n」は質問に対する有効回答者数で、割合(100%)が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 質問には、全員が1つの回答を選ぶもののほか、1回答者が2つ以上の回答をすることができる質問がある。2つ以上を回答する質問では、1つの選択肢の回答者の合計を有効回答者数で割った比率である。(各選択肢の比率の合計は、100%を超える。)また、前問で特定の回答とした一部の回答者のみに対して続けて行う質問がある。
- (3) 結果数値は、小数点以下第二位を四捨五入してあるので、内訳の合計が計(100.0%)に一致しないこともある。
- (4) 本文中の「問」は、特に断わりがないものは、高校2年生の調査票の問を記載している。
- (5) 前回調査(平成17年)と比較するグラフ、表などで、「—」と表示されている項目は、当該調査でその選択肢がなかったことを示す。